

ワイヤー調整式家具転倒防止システム インテリア・アンカー

平成17年度
墨田区新商品・新技術開発支援事業選定製品

コンサルタント：
株式会社G Kインダストリアルデザイン



地震大国・日本。

阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、そして熊本地震。

多くの建物、一般住宅が倒壊している様子を目にします。

また、これらの教訓に振り返ると、オフィス什器や一般家庭内の家具を固定していなかったばかりに、これらの転倒や散乱によって逃げ場を失ったり、怪我をしたり、最悪のケースでは圧死に至るなど、【家具転倒による二次災害】の恐ろしさと家具転倒防止対策の重要性を再認識します。

消防庁によると、近年発生した地震で怪我をした人の30～50%は家具転倒、落下が原因だったという調整結果があります。

つまり、家具転倒防止対策をしていれば、震災時に半分近くの方は怪我をしなくて済んだ事になります。

何故、対策をすぐにでも徹底すべきなのに、防止対策が進んでいないのか？

一つの原因は、知識や情報の不十分さにあります。



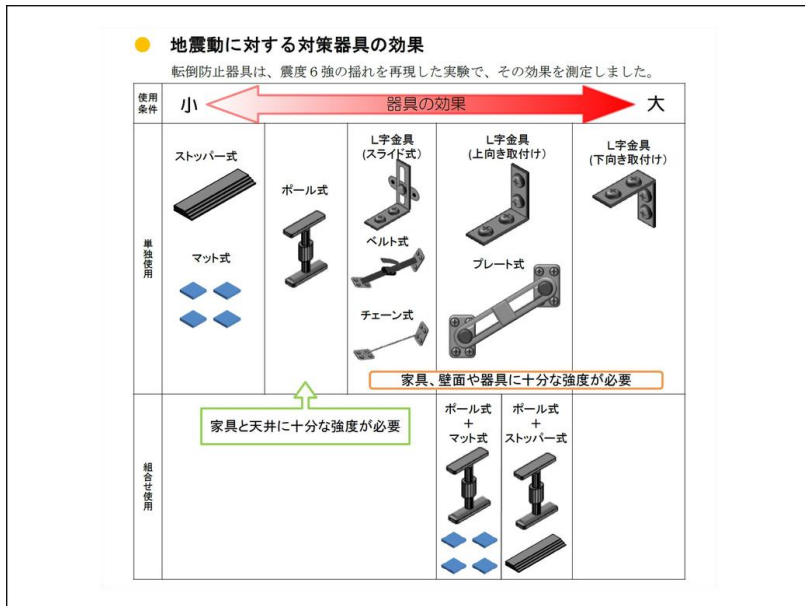
目次

• <u>家具転倒防止グッズが普及しない理由</u>	P. 4 ~
• システムの特長	P. 7
• 安全荷重設定	P. 9
• 製品仕様	P. 10 ~
• 納まり図	P. 13
• 【重要】壁・天井への固定ネジについて	P. 14
• 【参考】壁・天井の材質に合ったネジの選び方	P. 15
• 取付手順	P. 16 ~
• 施工事例	P. 20 ~
• よくある質問	P. 26 ~



家具転倒防止グッズが普及しない理由

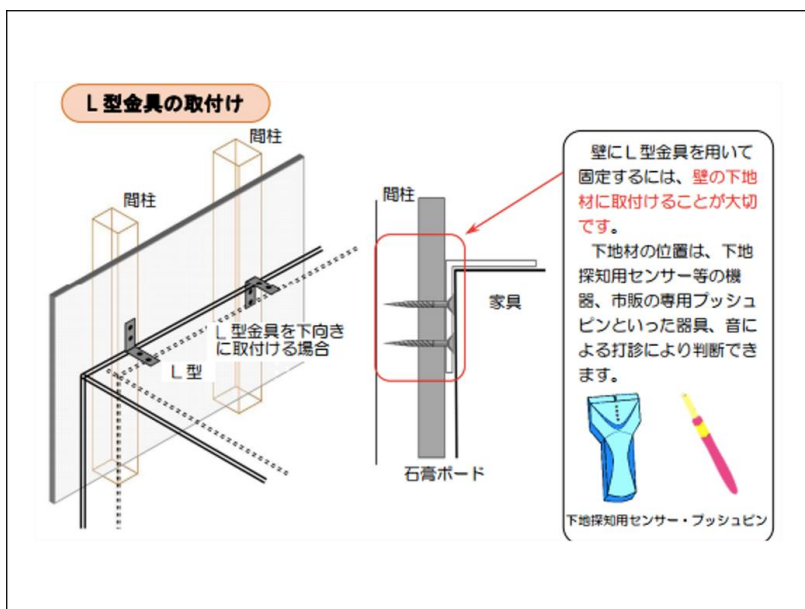
行政では、強度が高いL型金具を奨励しているが、様々な理由でL型金具は一般家庭への普及が進んでいません。



今や、家具転倒防止グッズは色々なところで目にします。そんな転倒防止グッズには、様々なタイプがあります。強度の強い順から紹介すると、

L型金具>プレート式>ベルト式器具>チェーン式>ポール式器具>ストッパー式器具です。

行政では、L型金具を奨励しております。強度が高いのがその理由です。ところが、様々な理由があり、L型金具は一般家庭への普及が進んでいません。



L型金具が普及しない理由、それは金具と壁を固定する事が困難なことです。

① 管理上の理由： 賃貸住宅にビスが打てない(大家さんが嫌がるなど)

家具転倒防止対策は身近ですぐにでも対応出来る防衛策の一つ。その為には、全国の自治体が率先して対応すべきものと思われます。

② 物理的な理由： 素人では壁下地に金具を取り付ける事が困難

左図の様に一般的な壁は壁紙の裏側に石膏ボードという“すかさか”の素材があり、その裏側に壁下地となる柱があり、そこに金具を固定する必要があります。

その他、

- 壁下地以外の場所に固定しようとした場合、ビスが効かず、強度を保てない
- 必ずしも家具を固定したい場所に壁下地があるわけではないという
- 壁下地を探すのも難しい

という理由が挙げられます。

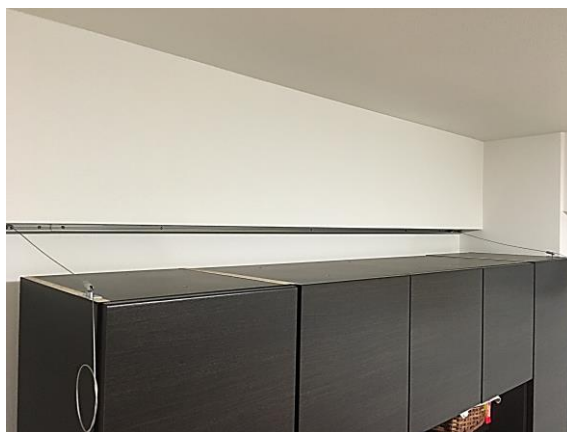
アルティマ製 ワイヤー式家具転倒防止システムであるインテリア・アンカーは、

家具を固定したい壁にピクチャーレールを取付、ワイヤーで家具を固定する為、家具と壁下地の位置を気にする必要がありません。

また、ワイヤーの長さ調整で家具の奥行にも対応出来ますし、レール上であれば家具の左右への移動も出来ます。

賃貸住宅にビスが打てない(大家さんが嫌がるなど)という事は非常に難しい問題です。

家具転倒防止対策は、身近ですぐにでも対応出来る防衛策の一つですので、全国の自治体が率先して対応すべきものと思われます。





- [2005年度 東京都墨田区による新商品・新技術開発支援事業開発製品](#)
- [コンサルタントに株式会社GKインダストリアルデザインを迎え開発](#)
- [静岡県防災局防災情報室発行の機関紙「自主防災」推奨製品](#)

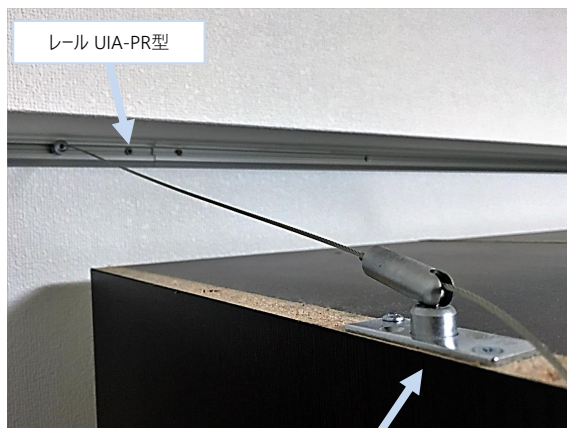
業界初、【家具転倒防止】と【ピクチャーレール】の複合型

どのような空間にも溶け込むインテリア性を最重視し、性能・デザイン・機能性に徹底的にこだわった従来にはない一般家庭・オフィス向けの家具転倒防止レールシステムです。

- 家具転倒防止として使用しなくても、ピクチャーレールとして使用出来ます。
- 家具転倒防止が普及しない最大の理由である取付に関しても、家具を固定したい壁にピクチャーレールを取付、ワイヤーで家具を固定する為、家具と壁下地の位置を気にする必要がありません。
- ワイヤーの長さ調整で家具の奥行にも対応出来、レール上であれば家具の左右への移動も出来ます。

ワイヤー線径	φ1.5
カラー	シルバー、 ブロンズ
許容荷重値	50kg 以内 ※壁側レール値の数値です ※許容荷重値は、最大静荷重値の約1/3の安全率でみています
用途	一般家庭の家具やオフィスの什器・OA機器類などの転落・落下・暴走を防止する補助支持材
主な納入先	企業、大学、銀行、公共施設、一般家庭 その他多数

システムの特長

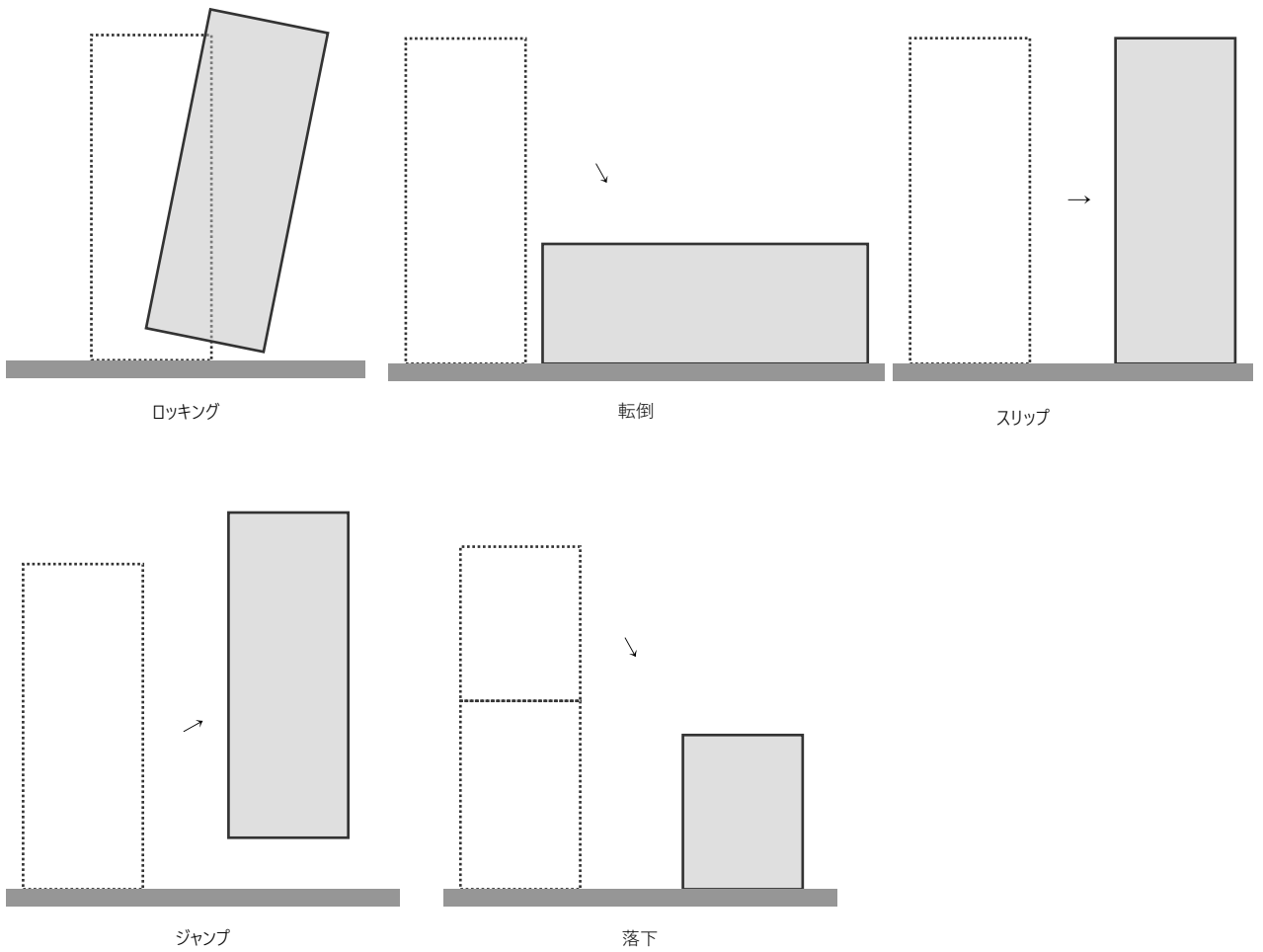


ストッパーの選択は、固定する家具、什器、OA機器類に合わせて金具を選択して下さい

- レール上のアタッチメントが左右自由にスライドし、移動調整が簡単に行えます
- 取付家具の奥行寸法も、ワイヤーの長さ調整機能で簡単に行えます
- 施工時の位置出しの必要もなく、レイアウト変更も簡単に行えます
- コンクリート造、木造など、あらゆる壁に固定できます。
- 大きな揺れを壁全体で受けるため、高い強度を保持します。
- 壁面に取付けた転倒防止レールと家具ストッパーで家具類をトータルに固定できます。
- レールはピクチャーレールとして、絵画や時計などの吊下げにもご利用いただけます。
- 無駄を省いたコンパクトなデザインは、違和感なく居室内に溶け込みます。
- 家具の奥行き調整は、ワイヤーの長さ調整(調整グリップ付) 機能で簡単に行えます。
- 家具の移動は自由で、レール上の固定金具を左右にスライドさせるだけで簡単に行えます。
- ワンタッチロック・アジャスト機能の採用で着脱が簡単に行え、家具のレイアウト変更にも自在に対応します。
- レールカラーは、シルバーとブロンズの2色のラインアップ。居室の雰囲気に合わせて、ご選択いただけます。
- ビスが効く位置に限られるL型金具に比べ、複数のビスで固定したレールは自由な位置で家具を固定できます。



「インテリア・アンカー」は以下に見る家具の挙動を軽減します



安全荷重設定

家具転倒防止対策で一番大切なのは、大きな地震があった際、本当に家具が転倒しないか、どうかです。

インテリア・アンカーは、様々な家具転倒防止グッズをテストした耐震実験において、金具がしっかりと固定されていれば、震度7の揺れに対しても安定した結果を得ております。

最大の理由は、弊社独自のグリップにあります。

ワイヤーを点固定するペアリング型ではなく、面固定のシュー型なので、よりワイヤーの負担が少なく、ワイヤー本来の強度を維持出来ます。

つまり、より安全で、安心して使っていただけるワイヤー式家具転倒防止システムです

製品名	安全荷重 (kg)	最大荷重 (kg)
家具ストッパー (UIA-SA、UIA-SB、UIA-SC)	50	160
ピクチャーレール用フック (UIA-PF)	2	10
ピクチャーレール用フック (UIA-1540F)	7	20

※当社テストの結果、最大荷重値の1/3以上の安全率で設定しています。

※レールの壁面への取付は、材質合ったビス等を下地材にしっかりと固定している事を前提にした強度です。

※最大荷重は、レールの変形までの強度です。

ご注意

- 許容荷重は490N(50kg以内)です。レールの最大保持力値の約1/3をみています。
- レールは許容荷重に耐えるようにしっかりと取付けてください。
- レールを取付ける際は、下地の位置を確認し、必ずネジが効く場所に取付けてください。
- ネジの効き具合で安全強度に影響しますので、ご注意ください。誤って取付けた場合は、十分に強度が保てないことがあります。
- 取付け場所の材質によっては、専用の金具が必要となります。施工は専門業者に相談してください。
- ワイヤーの端部はグリップから充分に出した状態でご使用ください。グリップから出るワイヤーが短いと強度が保てないことがあります。
- 施工後、グリップがロック状態になっているか確認してください。
- 本製品は家具の揺れを最小限にし、家具の転倒を防ぐことが目的です。
- レールには専用の家具ストッパー及びピクチャーレール用フック以外は、使用しないでください。
- グリップ、ワイヤーには塗料や油などを塗らないでください。
- ワイヤーの標準寸法はL=1000です。その他の寸法はご相談ください。
- 専用家具ストッパーは取付ける仕器や家具の材質・形状に合わせてお選びください。
- 取り付けに必要なビス・ナット類は付属していません。



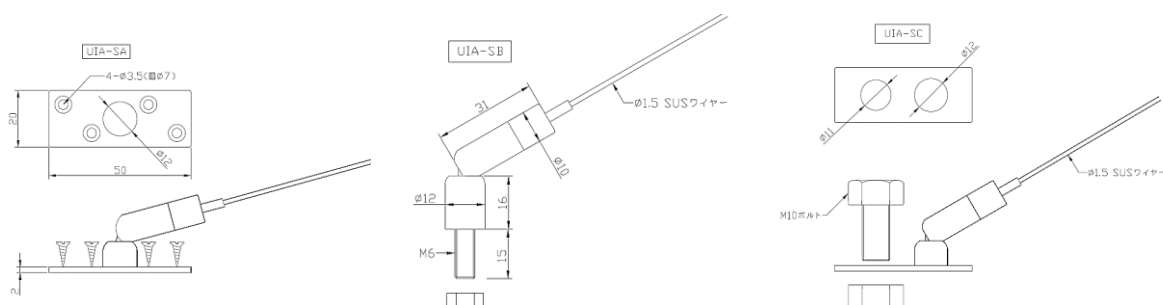
製品仕様 (ストッパー)



ストッパー仕様	ビス穴4カ所台座金具付ワイヤー長さ調整機能付 ※推奨ビス (木ネジ 3.1×13L) ※ビスは含まれておりません	M6ボルト金具付ワイヤー長さ調整機能付	M10ボルト用穴 1カ所台座金具付 ワイヤー長さ調整機能付 ※M10ボルトは含まれておりません
材質	真鍮、スチール、ステンレス (SUS304)		
仕上げ	ニッケルつや消しメッキ		
カラー	シルバー		
付属ワイヤー	φ1.5 : L = 1,000mm、材質 : SUS304 (7×7)、レール側アタッチメント付(各金具共通)		
主な用途	木製家具やキャビネット類	中・軽量キャビネット類	重量キャビネット類

※ワイヤー角度は30度以内、また適度にワイヤーを張った状態で設置していただくことを推奨しています。
 ※上記家具ストッパーを、旧製品 (耐震レール・UR型レール) に取り付ける事は強度確保上、出来ません
 ※ワイヤー長の特寸にも対応いたします

製品姿図



製品仕様 (ピクチャーレール用ハンガーフック)



材 質	真鍮	真鍮、スチール
仕上げ	ニッケルメッキ	サチライトニッケルメッキ
カラー	シルバー	
付属ワイヤー	L=1000 × φ0.8mm	L=1000 × φ1.2mm
許容荷重	20N (2kg以下) ※当社テストの結果、最大荷重値の1/3以上の安全率で設定しています	68N (7kg以下) ※当社テストの結果、最大荷重値の1/3以上の安全率で設定しています
備 考	高さ位置調整機能付	

※ワイヤー長の特寸にも対応致します。



製品仕様 (レール)

	レール UIA-PR S	レール UIA-PR B	UIA-CL (端部キャップ)
			
材 質	アルミ押出型材 A6063S-T-5 (SW6)		天然ゴム
仕上げ	アルマイト		-
寸 法	L=2,000mm×D10mm×H 23mm		-
カラー	シルバー	ブロンズ	-
許容荷重	490N(50kg以内) ※当社テストの結果、最大荷重値の1/3以上の安全率で設定しています・		-
備 考	壁付け専用		-

※下地が異なりますので、レール取付ビスは含まれておりません。壁材に合ったビスをご選択下さい。

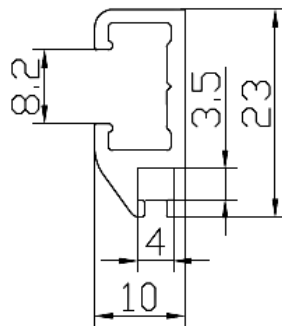
推奨：φ3.5～φ4.0 長さ 30mm以上

※下地位置が異なりますので、レールへの穴あけは行っておりません。下地位置をご確認の上、穴あけをお願い致します。

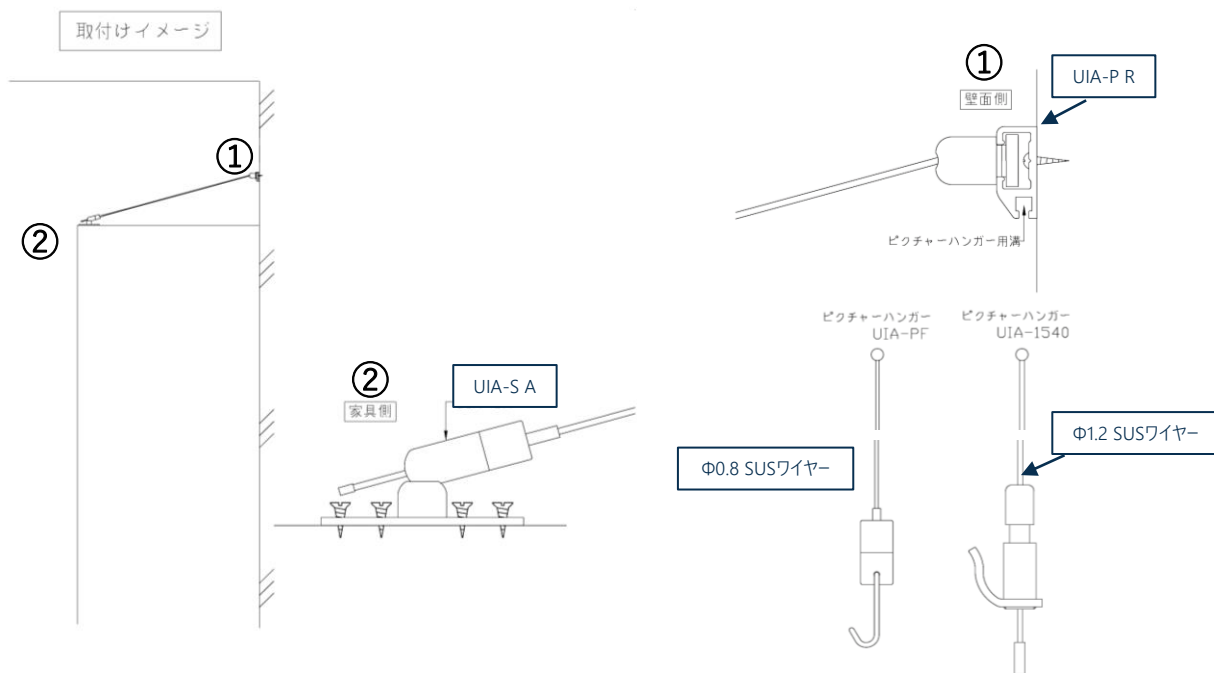
推奨：4.5mm～5.0mmの穴あけを電動ドリルなどで行って下さい

※レールはアルミで出来ております。長さを切断する場合は金ノコでの切断が可能です。

製品姿図



納まり図



- ※ 取付に必要なビス・ナット類は別売になります。
- ※ ストッパーには、レールへ接続させるアタッチメントと長さ調整機能付ワイヤーが付属されています。
- ※ 設置箇所に応じて、ストッパーをご選択ください。

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • レールを取付ける際は、下地の位置を確認し、必ずネジが利く場所に取付けてください。 • ネジの利き具合が安全強度に影響しますのでご注意ください。 • 取付場所によっては、専用の金具が必要になります。 • 施工は専門の工務店へご相談ください。
取付の注意	<ul style="list-style-type: none"> • 壁面とワイヤーの設置角度は、15度以内が奨励されています。 • 誤って取付けた場合は、十分に強度が保てないことがあります。 • 誤って取付けた場合の破損や事故に対しての一切の責任は負えません。 • 本製品は家具の揺れを最小限にし、家具の転倒を防ぐことが目的です。



【重要】壁・天井への固定ネジについて

壁・天井への固定用ネジは、取り付け面の材質や構造によって使用するネジの種類が異なるため、付属していません。

壁・天井の材質に適したネジをお選びいただくために、材質ごとのネジの選び方などをご紹介します。

✓ 壁・天井の材質と構造確認

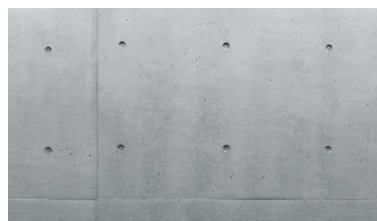
1. 見た目を確認



クロスが張られた【石膏ボード】

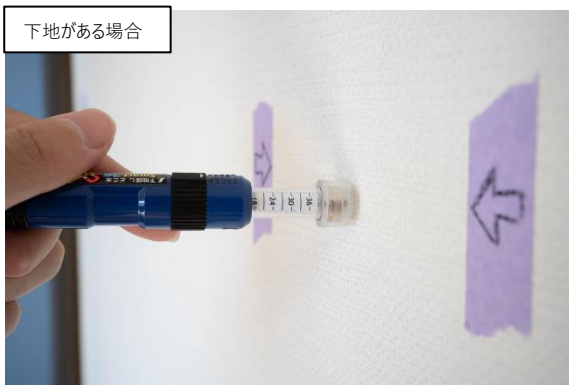


【木製壁】



打ちっぱなしの【コンクリート壁】

2. 細い針などを刺してみる



細い針を壁の目立たない場所に刺してみます。 ※ 下地センサー (針タイプ) 使用

下地がある場合、針が刺さり、途中で止まります (15mmから25mm程度)。

その場合、コンクリート壁や木製壁にクロスを貼っている場合が多いです。

また、先端部分を見て白い粉がついていれば石膏ボードの壁、粉がつかない場合は、木材の壁に壁紙を貼っていると考えられます。

下地がない場合、針がズブズブと全部入ります。すごく分かりやすいです。

【参考】壁・天井の材質にあったネジの選び方

壁・天井への固定に使用するネジは、一般的に4～5cm程度の長さがあれば大丈夫です。

ただし、取り付け面の材質や下地の状態によって耐荷重が異なりますので、ご注意ください。

例えば、ピクチャーハンガー、インテリア・アンカーで取り付ける石膏ボードの壁は、木材やコンクリートの壁に比べ耐荷重性に劣ります。

ネジの太さは、付属の壁固定具の穴の径よりも細いもの、ネジ頭は固定具の穴の径よりも大きいものを選択してください。



① 石膏ボード

ネジ種類：下地によって異なります

石膏(せっこう)を主成分とした材料で、日本の戸建てやマンションによく使われています。

壁の裏側に下地の入ったところ以外の部分は中空構造です。

表面の石膏ボードは崩れやすくネジが効かない為、下地の入った位置にネジを打つ必要があります。

下地となる素材は、木材や金属、コンクリートなどがあります。

ネジを打つ時は、下地の材質に合ったネジやプラグを使用してください。



② 木製壁 (石膏ボード下地の場合)

ネジ種類：木ネジ(もくねじ)

厚みのある木材の壁や、石膏ボードの下地が木材の場合には、木ネジというネジで直接打ち込むことができます。

ほとんどの場合、下穴を開けたりプラグを使用する必要はありませんが、厚みが11mm以下の場合には、石膏ボードに固定する際と同じように、壁の奥の下地材に対して固定をおこなってください。



③ コンクリート壁 (石膏ボード下地の場合)

ネジ種類：コンクリート用アンカープラグ

コンクリートは素材がくずれやすくビスが効きづらいため、プラスチック製やナイロン製のコンクリート用アンカープラグが必要です。

プラグが広がり隙間を埋めるため、しっかりと固定されます。



④ 金属 (石膏ボード下地：軽量鉄骨の場合)

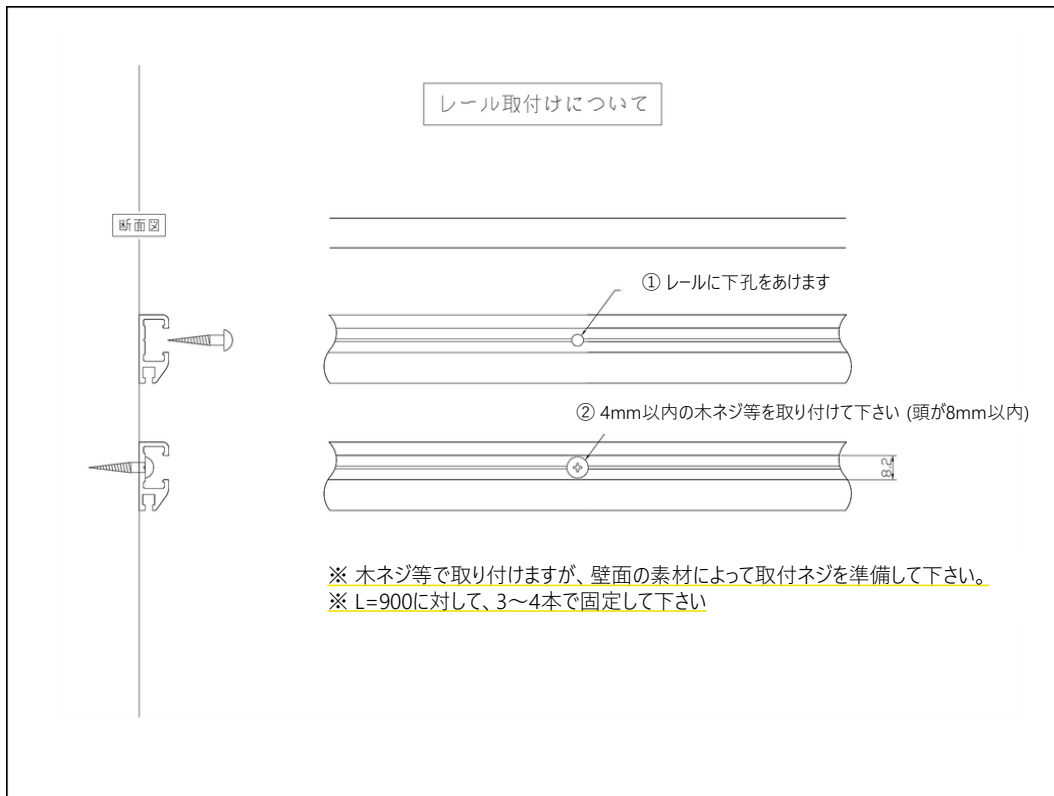
ネジ種類：タッピングネジ

石膏ボードの下地がLGS（軽量鉄骨）など金属の場合は、首までネジ山のあるタッピングネジを使用します。

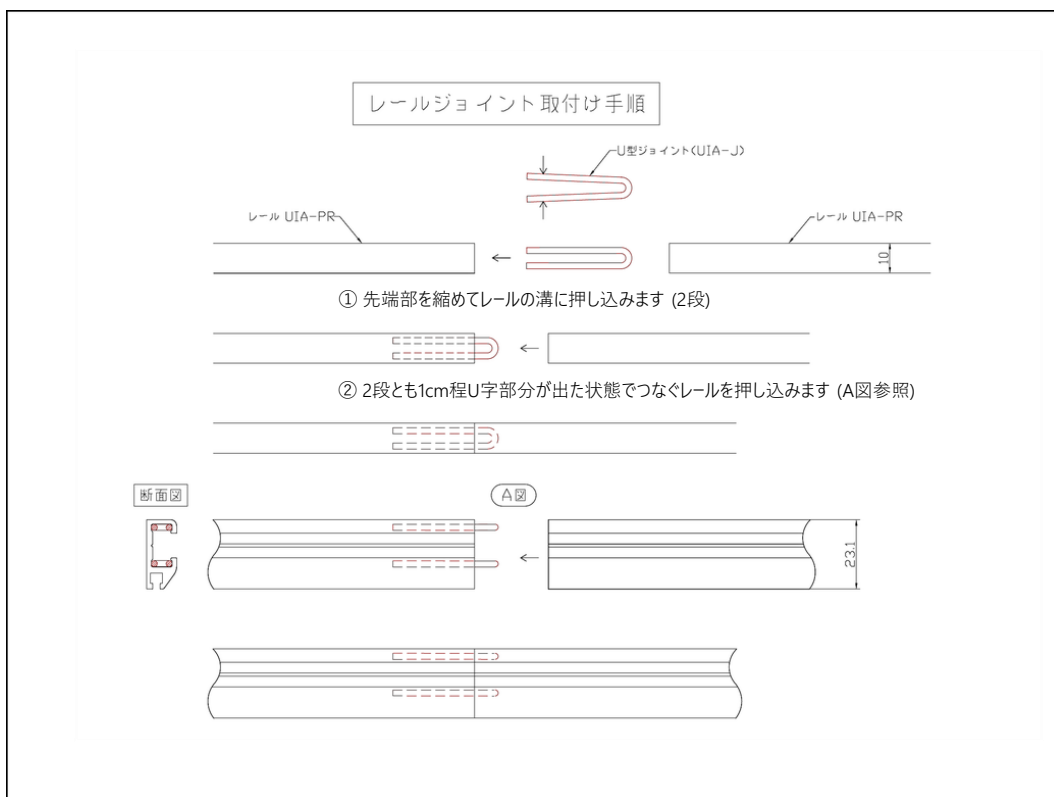
ドリルでネジの径よりも小さな径で下穴を開け、電動ドライバーを使用してネジを締めましょう。

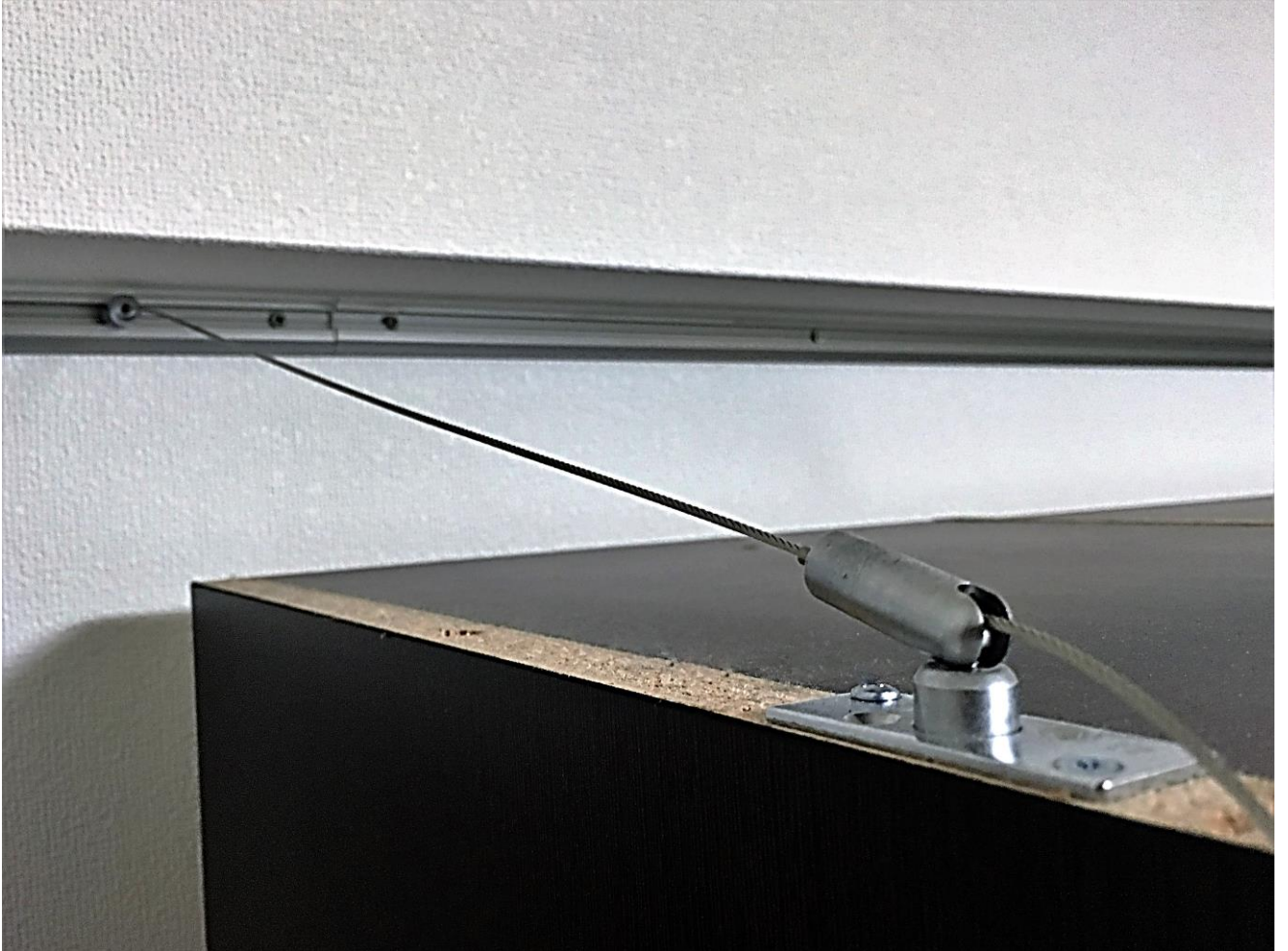


レールの取付手順



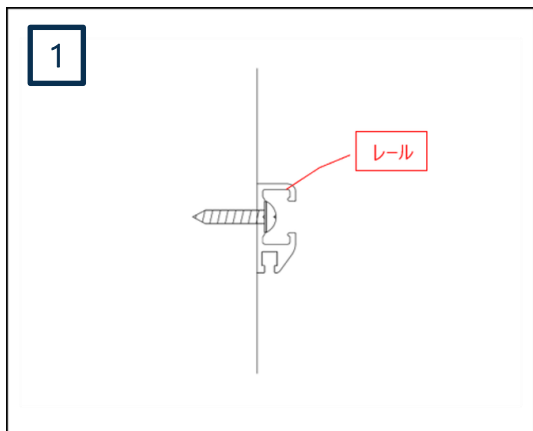
レールジョイントの取付手順





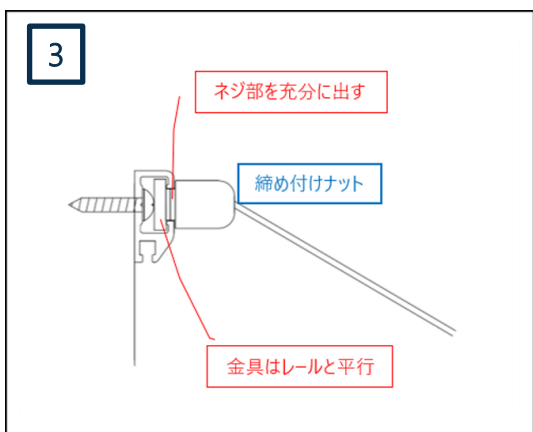
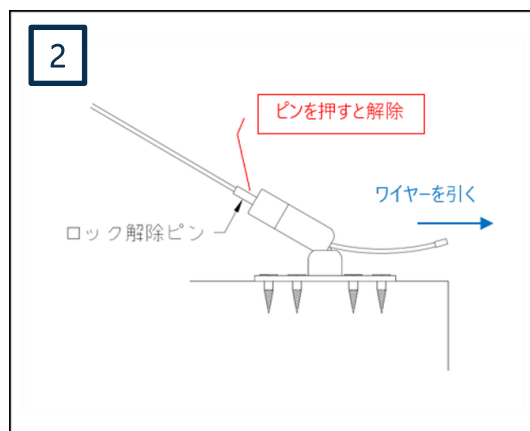


家具ストッパーの取付手順



① レールを取り付ける際、下地の位置を確認し、ネジが効く場所に取り付けます

② 家具の天板前縁角部に家具ストッパーをビスで取り付けます。最も強度の高い、天板と側板が重なる部分に取り付けます

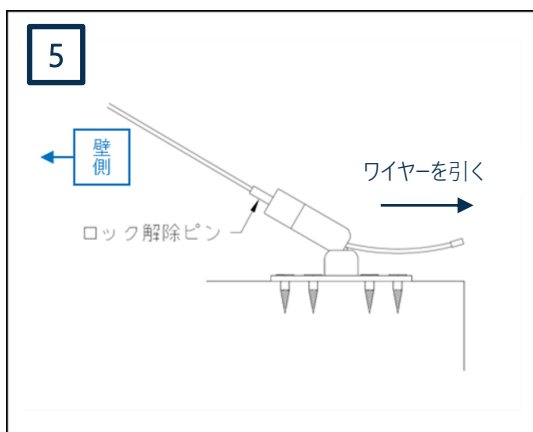
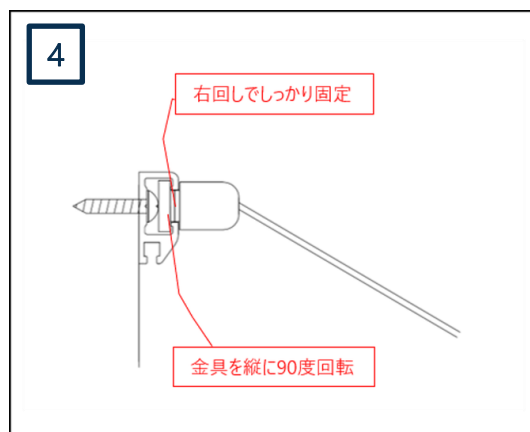


③ レールにアタッチメントの金具を横にし、差し込みます。この時、アタッチメントの締め付けナットを左回して緩め、ネジ部を充分に出してください。

レールの途中からでも、アタッチメントの差し込みは可能です

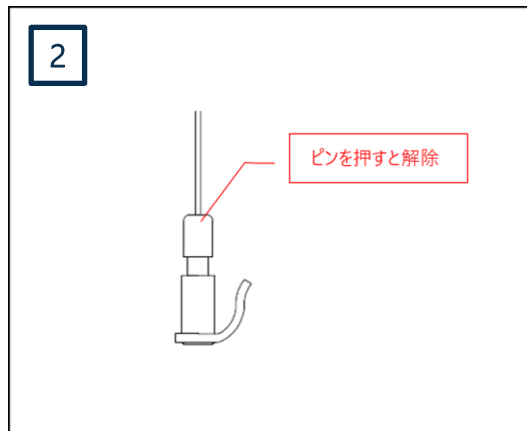
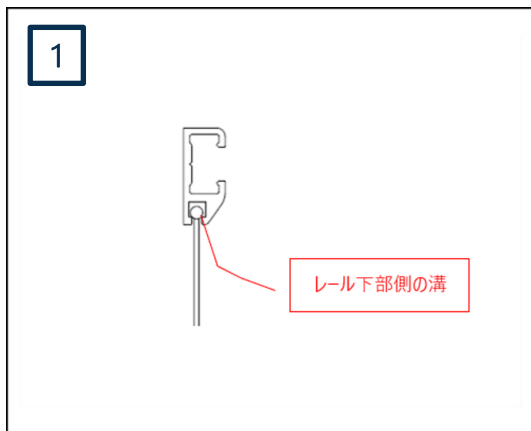
④ アタッチメントを家具の固定させたい位置に取り付けます。レール内部の金具を縦にし、アタッチメントの締め付けナットを右回して固定させます。

アタッチメントの固定後、レール両端部にエンドキャップを装着します



⑤ 家具ストッパー側のワイヤーを引き、家具をしっかり固定させます。

ピクチャーレールの取付手順



- ① エンドキャップを外し、下部側の溝にワイヤー端部のボールを挿入させます
- ② ピンの操作で上下の位置を調整します

注意事項

- 下地が異なりますので、レール取付ビスは含まれておりません。壁材に合ったビスをご選択下さい。
推奨：φ3.5～φ4.0 長さ 30mm以上
- 下地位置が異なりますので、レールへの穴あけは行っておりません。下地位置をご確認の上、穴あけをお願い致します。
推奨：4.5mm～5.0mmの穴あけを電動ドリルなどで行って下さい
- レール取付ビスは通常、L=2,000に対して@450程度でのビス止めを推奨しております。
- 家具ストッパー UIA-S Aの取付ビスは含まれておりません。1組に対し、必要ビスは4本になります。
家具材質にあったビスを選定ください。
- 家具ストッパー UIA-S Cの取付M10ボルトは含まれておりません。1組に対し、必要ボルトは1本になります。
家具材質にあったビスを選定ください。
- レールを取付ける際は、下地の位置を確認し、必ずネジが利く場所に取付けてください。
- ネジの利き具合が安全強度に影響しますのでご注意ください。
- 取付場所によっては、専用の金具が必要になります。
- 家具ストッパーの家具側のワイヤーはグリップ部から充分に出した状態でご使用ください。
グリップから出るワイヤーがぎりぎりだと強度が保てないことがあります。
- 施工後、グリップがロック状態になっているか確認してください。
- グリップ部及びワイヤーに塗料や油などを塗らないでください。
- 壁の材質により取付方法が異なります。
- 施工は専門の工務店へご相談ください

取付の注意

- 壁面とワイヤーの設置角度は、15度以内が奨励されております。
- 誤って取付けた場合は、充分に強度が保てないことがあります。
- 誤って取付けた場合の破損や事故に対しての一切の責任は負えません。
- 本製品は家具の揺れを最小限にし、家具の転倒を防ぐことが目的です。



施工事例

□ 食器棚 (引き戸)



ワイヤー保護チューブを棚との接触部に取付、棚に沿ってワイヤーを設置する
家具ストッパーを壁に固定し、棚に沿ってワイヤーを設置する

□ 収納棚 (開き戸)



家具ストッパーを壁に固定し、棚に沿ってワイヤーを設置する

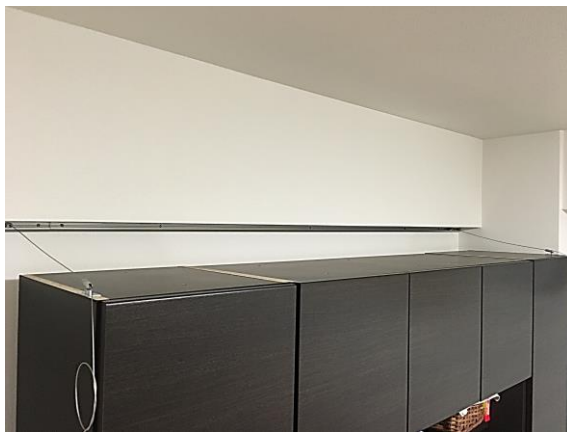
上記取付事例は、家具転倒防止 + ピクチャーレールの機能を持った取付になります。

ただ、扉のある本棚や食器棚、ロッカーなどに収納されている物が飛び出す可能性があります。そういった場合に対するワイヤーでの取付事例になります。

□ 収納棚

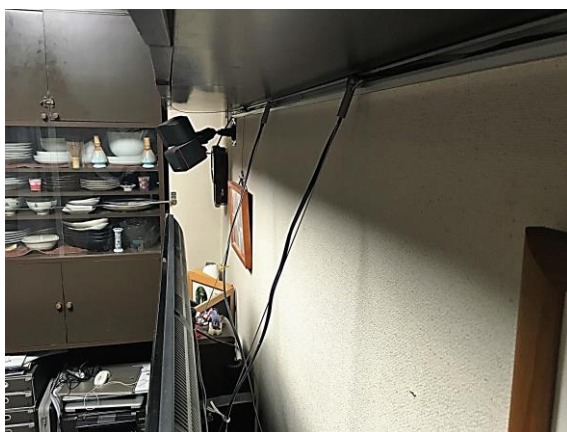


- レールからワイヤーを張り出し、家具の前方側に固定します。
- 家具の上部もすっきりとし、金具類は目立ちません。
- ワイヤーの長さ調整で、家具の奥行に対応します。
- 家具の左右の移動は、レール上の金具の移動で簡単に出来ます



- 前方から見ても、取付金具類は目立ちません。
- 家具の上に十分なスペースが確保されます。
- 壁面に取付けたレールも室内に同化し違和感がありません。

□ テレビ



レールからワイヤーを張り出し、テレビ背面に固定します



□ バックバー (酒棚)



家具ストッパーを壁に固定し、棚に沿ってワイヤーを設置する



レールからワイヤーを張り出し、棚に沿って、ワイヤーを設置する

東日本大震災時も、ワイヤー効果でボトルは1本も落下しませんでした。

□ 某美術館



景観的にレールを上端に取り付けたくないとの理由で、視界に入らない下端にレールを取付、ワイヤーを棚に沿って下から上に向かって設置。棚上部に家具ストッパーを固定



東日本大震災時も、ワイヤー効果で美術品の破損はありませんでした。



その他の施工事例

2008年に静岡県防災広報誌に弊社インテリア・アンカーが取り上げられております。

掲載内容は、主にアパート、マンション大家向けの転倒防止対策についてとなっております。

発行 静岡県防災局 防災情報室 企画・編集 静岡県自主防災活動推進委員会

平成20年3月発行

災害に備えるためのコミュニケーション紙

自主防災

保存版

2008 No. 69

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

災害時に支援が必要な人と 普段から十分なコミュニケーションを!

災害時要援護者とは?...

災害時に、情報の入手や避難行動、避難所での生活が困難で、何らかの支援を必要としている方々をいいます。一般的に高齢者、障害者、外国人、

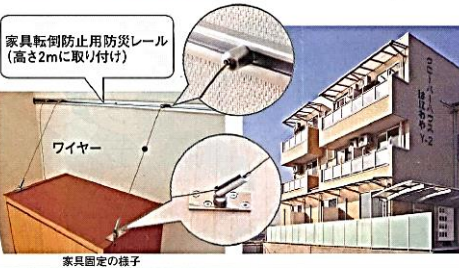
さいがいじょうえんごしゃだいちょう

災害時要援護者台帳を整備しておくとう便利です

アパートなど賃貸住宅の家具の転倒防止対策

静岡市駿河区水上に新築された民間アパートで施工された、家具の転倒防止対策を紹介します。

- 鉄骨造3階建ての9室すべての壁面に家具転倒防止用防災レールを取り付け、ワイヤーを利用して壁を傷つけない家具類を固定できます。
- 壁下地に補強材として厚さ12mmの構造用合板を追加し、家具転倒防止用防災レールをビスで固定しています。
- 洋服ダンスや本棚、テレビ、冷蔵庫などの家具類の位置に、レールに吊るされたワイヤーを移動して固定します。



JA共済の建物更生共済を紹介します

ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせ下さい。

07229990126

企画・編集 静岡県自主防災活動推進委員会
発行 平成20年3月
静岡県防災局 防災情報室
TEL 054-221-2644
制作・印刷 東洋印刷株式会社

本紙は、再生紙を使用しています。

富士山の火山活動に異常が観測された際には、気象庁から噴火警戒レベルや噴火警報が発表されます。これに応じた避難の指示などが市や町から伝えられることになっていますが、状況によっては自主的な避難や避難準備が必要になる場合もあります。

噴火警報
火口周辺警報
噴火予報

- レベル5 (避難)** ◆居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している場合に発表されます。危険な地域からの避難が必要です。
- レベル4 (避難準備)** ◆居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生する可能性が高まっている場合に発表されます。警戒が必要な地域からの避難や避難準備が必要です。
- レベル3 (入山規制)** ◆居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される場合に発表されます。危険な地域への立ち入りが規制されます。
- レベル2 (火口周辺規制)** ◆火口周辺に影響をおよぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される場合に発表されます。火口周辺への立ち入りが規制されます。
- レベル1 (平常)** ◆火山活動は静穏な状態です。特別な対応は必要ありません。

地震などによる損害	自然災害による損害	火災などによる損害	火災などや自然災害によるケガ・死亡
【全壊のとき】 1,000万円	【全壊のとき】 自然災害共済金 2,000万円 臨時費用共済金 250万円* 特別費用共済金 200万円* 合計2,450万円 + 残存物とりかたづけ費用共済金 *固定および災害時の場合に限り。	【全壊・全壊のとき】 火災共済金 2,000万円 臨時費用共済金 250万円 特別費用共済金 200万円 合計2,450万円 + 残存物とりかたづけ費用共済金	【死亡のとき】 1人につき600万円 【所定の後遺障害のとき】 1人につき300万円~600万円 【所定の治療を受けたとき】 1人につき30万円

※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意事項)」および「ご契約にあり・約款」により必ずご確認ください。



1420 886011 防災局防災情報室
【自主防災台帳】
必要事項
お返りください
平成20年4月7日(月)※当日消印有効
※印刷方法は、官製は省き、左記の要領で記入し、お返りください。



防災の備えをしっかりと整えたら、クイズで挑戦しよう! 防災クイズに挑戦しよう! 防災クイズに挑戦しよう! 防災クイズに挑戦しよう!



よくある質問

Q1. 他の家具転倒防止商材との違いは何ですか？

機能面で言うと、業界初の【家具転倒防止】と【ピクチャーレール】の複合型です。

家具転倒防止として使用しなくても、ピクチャーレールとして使用出来ます。

肝心の家具転倒防止対策についてですが、様々な家具転倒防止グッズをテストした耐震実験において、金具がしっかりと固定されていれば、震度7の揺れに対しても安定した結果を得ております。

最大の理由は、弊社独自のグリップにあります。

ワイヤーを点固定するベアリング型ではなく、面固定のシュー型なので、よりワイヤーの負担が少なく、ワイヤー本来の強度を維持出来ます。

つまり、より安全で、安心して使っていただけるワイヤー式家具転倒防止システムです。

安定荷重値の詳細はP.9をご確認下さい。

Q2. 余ったワイヤーはどうすれば良いですか？ カットしても大丈夫ですか？

余ったワイヤーはループして、まとめるなどして下さい。

ワイヤーをカットしてしまうと、ワイヤー先端がばらけて家具ストッパーに入りづらくなりますので、カットはしないでください。

Q3. ワイヤーの長さ寸法を変更する事は出来ますか？

特注製作いたします。標準はL=1,000mmですが、長尺寸法の対応も可能です。納期、金額はお問い合わせください。

Q4. 家具ストッパー UIA-S A、UIA-S B、UIA-S Cの選択の目安はありますか？

UIA-SAは木製家具の固定に適しています。

家具側金具のプレート台座のネジ穴（4-φ3.5穴-φ7皿）に適正ネジで固定して下さい。（取付ビスは付属しません）

UIA-SBは中・軽量キャビネットの固定に適しています。

家具側金具はM6ボルト（ナット付）です。家具側のM6用ボルト穴へ固定して下さい。

UIA-SCは重量キャビネットの固定に適しています。

家具側金具のプレート台座にM10ボルト用の穴があります。家具に適したM10ボルトにて固定して下さい。（M10ボルト及びナットは付属しません）

Q5. レールの長さは指定できますか？

定尺寸法はL=2000での出荷になります。これよりも短い場合は、現場にて適正寸法にカットして下さい。

レールの材質はアルミ材です。

Q6. レール同士をジョイントする場合、どうすれば良いですか？

専用のジョイント部材のご用意はございません。現場でレール同士を突合わせて固定して下さい。

Q7. 家具ストッパーのレール側固定はどうなりますか？

レール側はレールにワイヤーを固定するアタッチメントが付属しています。

Q8. 家具ストッパーの本数はどのように決めると良いですか？

家具ストッパーは1セット単位でご注文を承ります。通常の家具であれば、両サイドに取り付けるので2セットになります。

家具に幅がある場合は、左、中央、右の3セットになります。家具のワイド寸法に応じて適宜ご確認ください。

レール L=1,200以下でしたら、ワイヤーセット×2セット、レール L=1,200以上でしたら、ワイヤーセット×3セットを推奨しております

Q9. レールのビス止めの推奨ピッチはございますか？

通常@450となります。

レール L=2,000でしたら、ビス×5本になります



株式会社 **アルティマ**

〒130-0002 東京都墨田区業平3-4-8 豊ビル 2F

Tel: 03-5608-6838 / Fax: 03-5608-6837

<https://www.ultima-grip.co.jp>